

MaaSとは

Mobility as a Service

実際には分割されたさまざまなモビリティサービスを、仮想的にひとつのサービスとみなす概念です。

観光や医療等の目的地における交通以外のサービスとの連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段として、徐々に広まっています。

※右図：[国土交通省日本版MaaSの推進](#)より



杉並区がMaaSに取り組む理由

交通業界を取り巻く状況

- ・公共交通の利用減少⇒減便・路線廃止
- ・運転手不足（バス・タクシー）



公共交通のサービス水準を維持しつつ、
更なる利用促進を図る



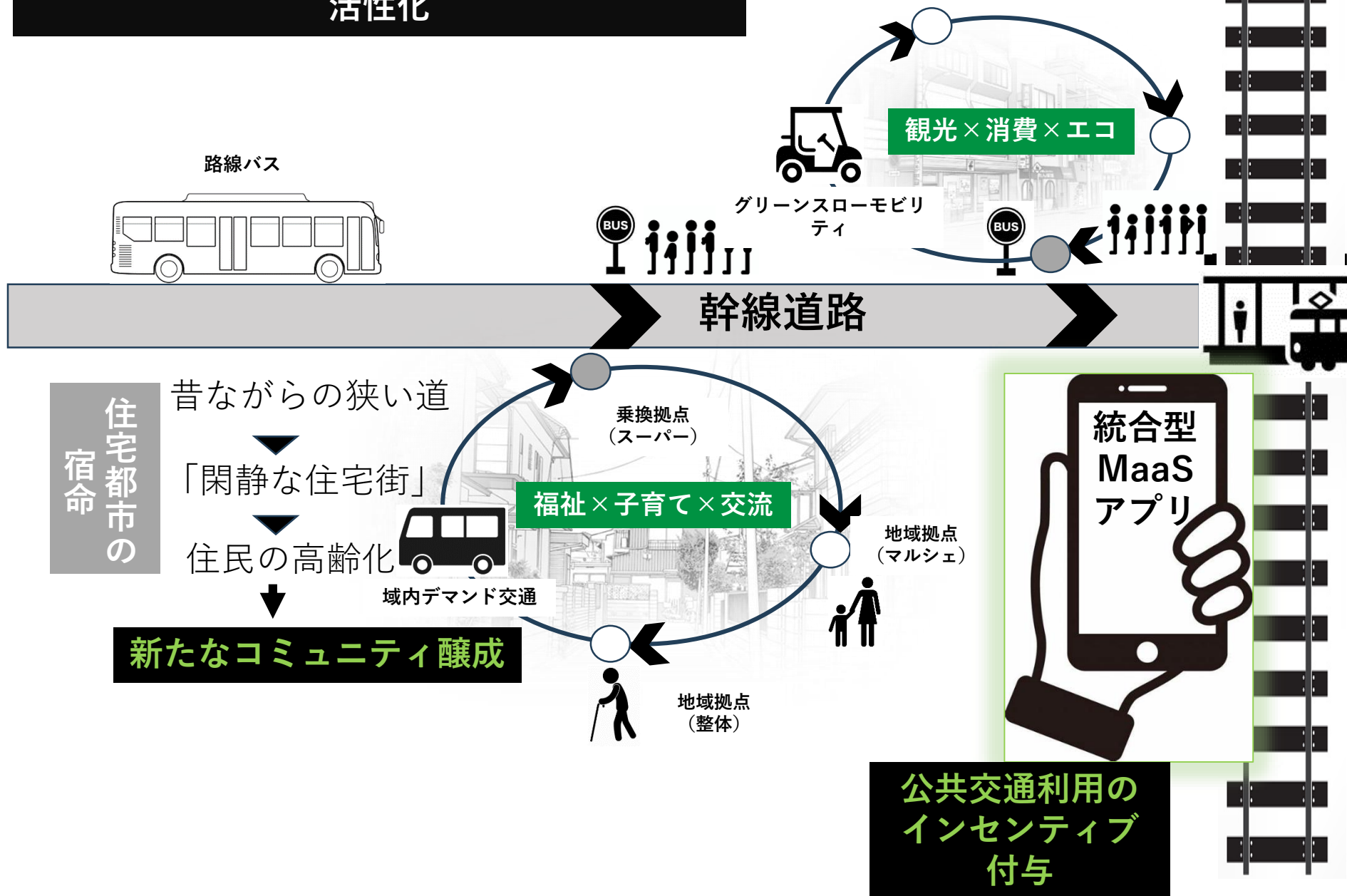
マース
MaaS(Mobility as a Service)

こうした危機的状況は地方部だけでなく、
東京都内にも迫っている

区のさまざまな交通を連携していくことで
新たなモビリティサービスとして提供する

杉並区産MaaSモデル・概念図

「小さい移動」が「大きい移動」を産む地域活性化

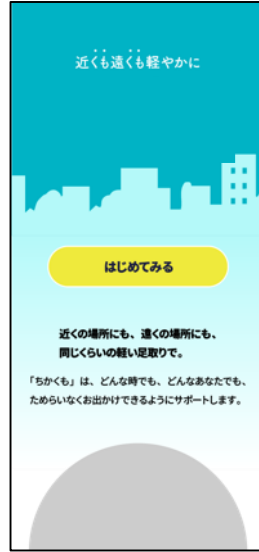


杉並区産MaaSシステム アプリ画面 (開発中)

杉並区公式LINE



サービス概要 (初回のみ)



LINEアプリ認証 (初回のみ)



トップ



地域コンテンツ



季節ごとに
移り変わる
杉並区の景色や
人・交流の様子

お出かけマップ



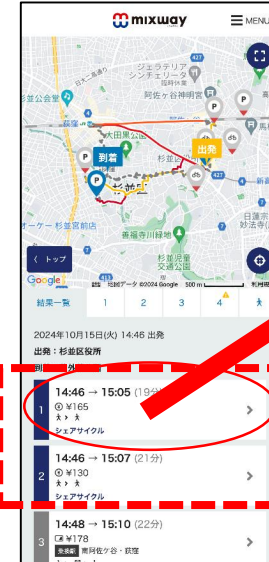
グリーンスローモビリティ



オンデマンド交通



経路検索 (別サイト)



シェアサイクルと徒歩の経路



時間を考慮した検索結果



グリスロ実装
(荻窪地区)



11月末 本格運行開始

【目的】

- ・区外者来訪の喚起
- ・駅前商店街の活性化

オンデマンド交通実験
(堀ノ内・松ノ木地区)



※イメージ

1月8日 実証運行開始

【目的】

- ・高齢者や子育て層の移動促進
- ・地域コミュニティ連携による活性化

杉並区産MaaSモデル・概念図

「小さい移動」が「大きい移動」を産む地域活性化

